



お知らせ

提供資料 配布日時	平成29年2月19日 14:00 解禁
資料提供先	岡山県政記者クラブ 倉敷記者クラブ 中国地方建設記者クラブ 日刊建設産業新聞社

水島港臨港道路（倉敷みなと大橋）が、 平成29年3月25日（土）に開通します。

水島港臨港道路（倉敷みなと大橋）が、平成29年3月25日（土）に開通することとなりましたので、お知らせします。

なお、開通式典・祝賀行事（※）、開通時刻については、後日あらためてお知らせします。

【概要】

倉敷みなと大橋は、水島地区と玉島地区を結び、水島港を利用する貨物輸送の効率化を図ることを目的とした延長2,564mの橋です。

【主な整備効果】

○水島地区と玉島地区間のアクセス機能の強化

水島地区で生産した製品を、物流拠点である玉島地区から出荷する際のコストを減少（輸送距離を約2.5km短縮、輸送時間を約5分短縮）させることができます。

○大規模地震発生時への対応

大規模地震発生時において、玉島地区に整備済みの耐震強化岸壁からの緊急物資の輸送経路、住民等の避難経路を確保することができます。

（詳細は、別添1～3を参照下さい。）

※〈式典主催者〉

水島港臨港道路整備事業供用開始記念事業実行委員会

事務局：国土交通省中国地方整備局宇野港湾事務所、岡山県、倉敷市

〈問い合わせ先〉

国土交通省 中国地方整備局 宇野港湾事務所水島港出張所

副所長 嘉屋健二（かや けんじ）

企画調整課長 尾崎 靖（おざき やすし）

TEL：086-522-0507 FAX：086-523-0519

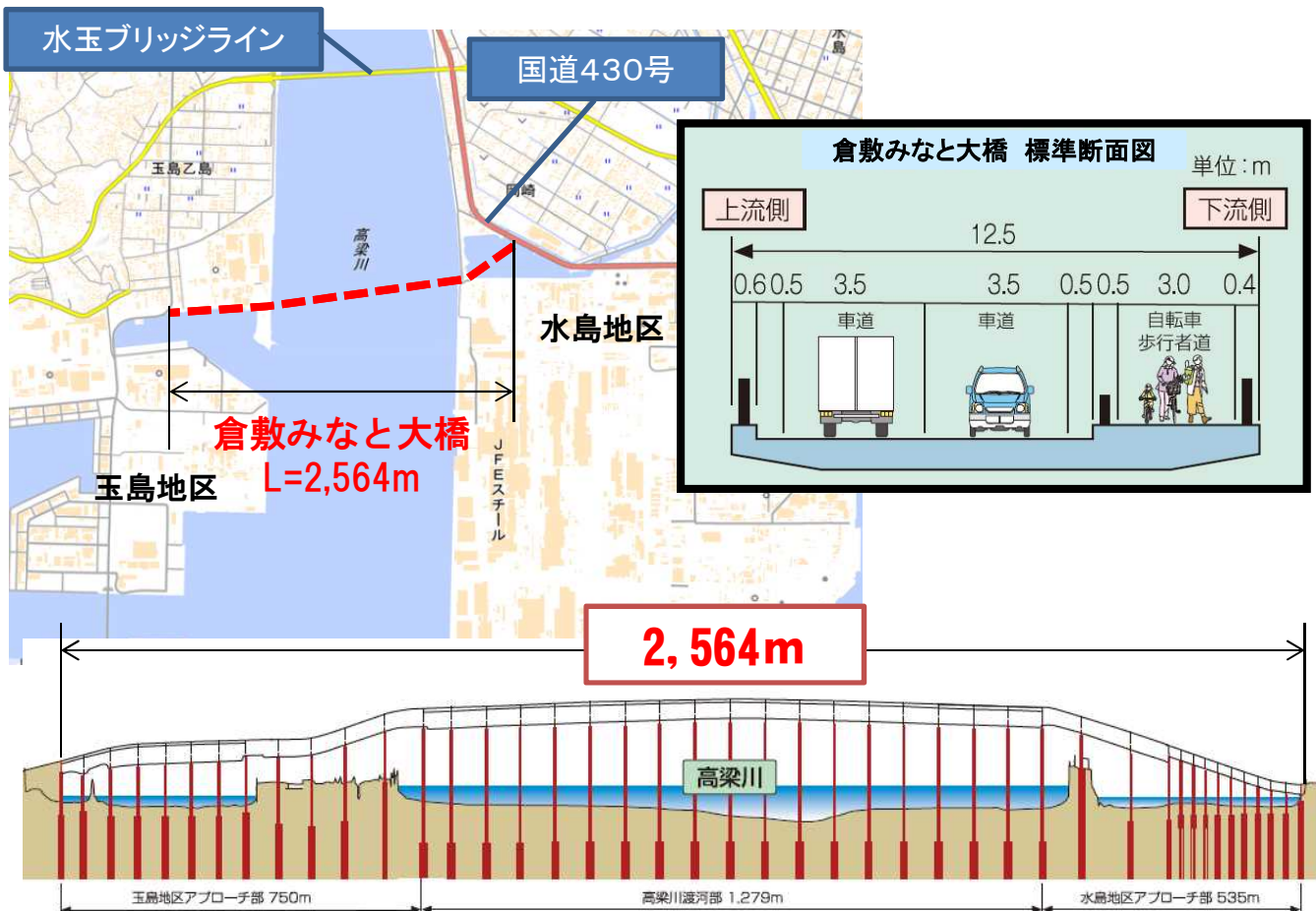
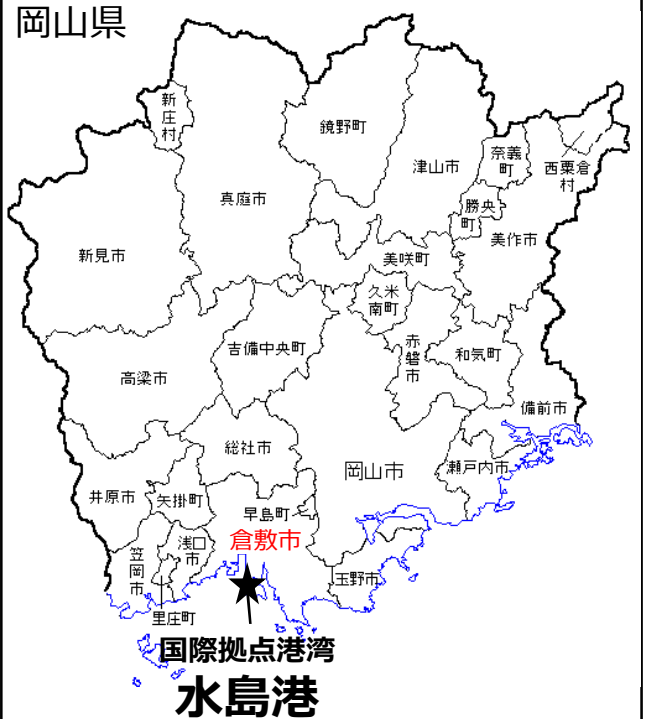
水島港臨港道路 (倉敷みなと大橋)概要

別添1

水島港臨港道路は、水島コンビナートである水島地区と、国際コンテナターミナルである玉島地区を結ぶ、延長2,564mの橋です。

今回の開通により、水島地区と玉島地区間のアクセス機能を強化し、水島港を利用する貨物輸送の効率化を図るとともに、大規模地震発生時における水島港の防災機能の強化を図ります。

- ・橋梁名：倉敷みなと大橋
- ・現地着手：平成22年度
- ・総事業費：356億円
- ・車線数：2車線
- ・延長：2,564m



(整備効果)

別添2

水島港ふ頭間の物流コスト低減

～水島地区と玉島地区のアクセス機能の強化による輸送時間・距離の短縮～

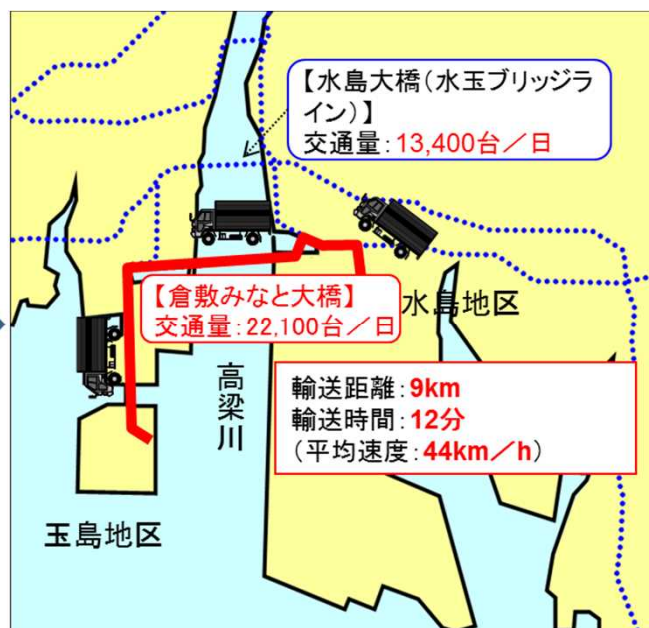
水島地区と玉島地区間の輸送距離を約2.5km(11.5km→9.0km)、輸送時間を約5分(17分→12分)短縮し、物流コストを低減させることができます。

また、交通量の分散化により、同区間における慢性的な混雑状況を緩和することができます。

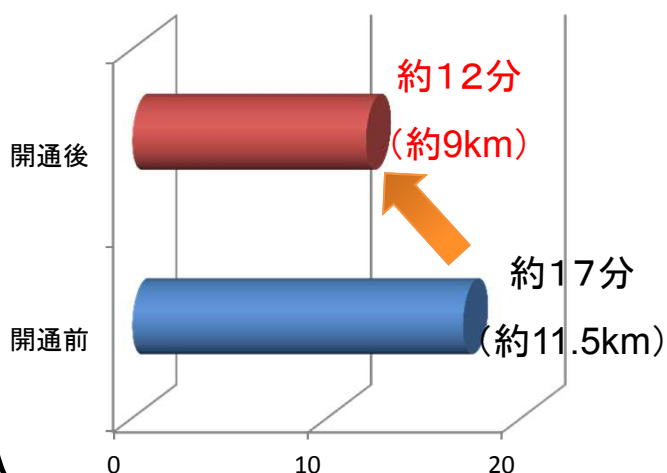
【開通前】



【開通後】



輸送時間の短縮



水玉ブリッジラインの自動車混雑状況

(整備効果)

別添3

水島港の防災機能の強化

～大規模地震発生時の緊急物資等の輸送経路の確保～

南海トラフ巨大地震等の大規模地震発生時に、玉島地区の海上輸送拠点(岸壁(水深12m)【耐震強化岸壁】)からの緊急物資の輸送経路、住民等の避難経路を確保することができます。また、震災後の企業活動を支え、地域経済への影響を軽減することができます。

